

美術系大学合同説明会を開催しました

6月10日(火)、美術科では7, 8時限(16:00-18:00)に成安造形大学、名古屋造形大学、京都造形大学の各大学関係者からの美術大学説明会を開催いたしました。

美術に関心のある中学生、高校生併せて30数名が参加し、各大学のプレゼンテーションを熱心に聴講しました。特に高校2年生、3年生は美術系大学志望を決める時期に近づいていることもあり、とても熱心に聞いていました。

成安造形大学からは広報部、田村園氏(土佐塾高卒、13期生)がプレゼンテーションをしました。彼女は自身の学生生活を語りながら、大学の特徴、講義内容、取り巻く環境、授業料に至るまで丁寧に説明していただきました。

名古屋造形大学からは、学長である小林亮介氏、広報部長である渡辺敏之氏がプレゼンテーションしました。小林氏はこれからの美術大学に必要とされる国際性をわかりやすく説明し、渡辺氏は最先端技術と美術との関わりについて面白く説明していただきました。

京都造形大学からは広報部の木原考晃氏がプレゼンテーションしました。木原氏は美術大学の重要性と必要性、さらには美術大学で何を学ぶのかというところまで踏み込んだ内容を、プロジェクターを使って説明していただきました。

各大学のプレゼンターに共通するところは、高校生達はしっかり大学を見て、自分にあった大学を選ぶことが必要であり、特にオープンキャンパスを利用し、大学受験前にそれぞれの大学の環境に触れることはとても大事だと言っていました。

今回は美術大学を知る上で生徒達にとって非常に有意義な説明会となりました。美術科では今後もこのような説明会を年1回は開催する予定です。

美術科 西悟



